

2027 年シニア各選手権大会及び 2028LA オリンピック代表選考方法について

1. 選考基準

2027 1st Ranking Series	
期間	2027 年 2 月 15 日～2 月 21 日
開催地	(候補地) アルバニア・ティラナ、クロアチア・ザグレブ、エジプト・アレクサンドリア
選考基準	(1) 派遣対象はオリンピック階級について各階級最大 2 名、非オリンピック階級は各階級最大 1 名までとする。 (2) 2026 年度天皇杯全日本選手権大会の成績に基づき、同階級の上位選手（1 位～3 位）から順に優先して選出する。 (3) 同順位の選手における優先順位は、UWW ルール規定第 2 章第 8 条に準ずる。
備考	

2027 シニアアジア選手権大会	
期間	2027 年 3 月 30 日～4 月 4 日
開催地	(候補地) ヨルダン／アンマン
選考基準	(1) 2026 年度天皇杯全日本選手権大会の成績に基づき、同階級の上位選手から順に優先して選出する。 (2) 同順位の選手における優先順位は、UWW ルール規定第 2 章第 8 条に準ずる。
備考	

2027 2nd Ranking Series	
期間	2027 年 5 月 31 日～6 月 6 日
開催地	(候補地) エジプト・アレクサンドリア、カザフスタン・アスタナ、モンゴル・ウランバートル、アメリカ合衆国・コーラルビル
選考基準	(1) 派遣対象はオリンピック階級とし、各階級最大 2 名までとする。 (2) 2026 年度天皇杯全日本選手権大会の成績に基づき、同階級の上位選手（1 位～4 位）から順に優先して選出する。

	(3) 同順位の選手における優先順位は、UWW ルール規定第 2 章第 8 条に準ずる。
備考	

2027 3th Ranking Series	
期間	2027 年 7 月 19 日～7 月 25 日
開催地	(候補地) エジプト・アレクサンドリア、モンゴル・ウランバートル
選考基準	(1) 派遣対象はオリンピック階級とし、各階級最大 2 名までとする。 (2) 同階級において、以下の優先順位に基づき選手を選出する。 ① 世界代表選手 ② プレーオフ敗者選手 ③ ランキング大会最上位選手 ④ 明治杯全日本選抜選手権大会の上位選手 (2 位～4 位) (3) 同順位の選手における優先順位は、UWW ルール規定第 2 章第 8 条に準ずる。
備考	

2027 シニア世界選手権大会	
期間	2027 年 9 月 11 日～9 月 19 日
開催地	アメリカ・ラスベガス
選考基準	1. オリンピック階級について (1) 2026 年度天皇杯全日本選手権大会優勝者と、2027 年度明治杯全日本選抜選手権大会優勝者が同一の場合は、当該優勝者を代表選手として選出する。 (2) 2026 年度天皇杯全日本選手権大会優勝者と、2027 年度明治杯全日本選抜選手権大会優勝者が異なる場合は、該当する優勝者 2 名により後日プレーオフを行い、その勝者を代表選手とする。 (3) プレーオフについて ① 出場権利は、明治杯全日本選抜選手権大会のエントリー階級とする。 ② 日程は、後日決定する。 ③ 計量は、リミット計量にて行う。 (4) 補欠選手について ① 2026 年度天皇杯全日本選手権大会および 2027 年度明治杯全日本選抜選手権大会の優勝者が同一の場合、2027 年度明治杯全日本選抜選手権大会の 2 位選手とする。 ② 2026 年度天皇杯全日本選手権大会および 2027 年度明治杯全日本選抜選手権大会の優勝者が異なる場合、プレーオフの敗者とする。

	2. 非オリンピック階級について (1) 非オリンピック階級のプレーオフを実施し、その勝者を代表選手とする。 (2) 上記プレーオフへの出場資格は、以下の条件を満たした者に付与する。 ① 当該階級における 2026 年度天皇杯全日本選手権大会 優勝者 ② 当該階級における 2027 年度明治杯全日本選抜選手権大会 優勝者 ③ 2026 年度天皇杯全日本選手権大会または 2027 年度明治杯全日本選抜選手権大会のオリンピック階級で 2 位以内に入賞した選手 (3) 非オリンピック階級のプレーオフは、オリンピック階級のプレーオフ実施後 2 週間後を目途に、リミット計量にて実施する。 (4) 補欠選手について プレーオフの成績に基づき選出する。なお、同順位の選手における優先順位は、UWW ルール規定第 2 章第 8 条に準ずる。
LA2028 国粋獲得条件	オリンピック階級 3 位以内
LA2028 代表内定条件	(1) 代表選手が出場枠（国粋）を獲得した場合、当該代表選手をオリンピック代表内定選手とする。 (2) 補欠選手が出場枠（国粋）を獲得した場合（以下「出場枠獲得選手」という）、負傷等で世界選手権を欠場となった代表選手と、出場枠獲得選手の 2 名によるプレーオフを後日実施する。 (3) プレーオフの決定方法について 出場枠獲得選手に 1 勝のアドバンテージを与えた上で、最大 2 試合を行う。 ① 1 試合目：出場枠獲得選手が勝利した場合は、オリンピック代表内定選手とする。代表選手が勝利した場合は、2 試合目を行う。 ② 2 試合目：2 試合目の勝者をオリンピック代表内定選手とする。 （※出場枠獲得選手は 1 勝、代表選手は 2 連勝で内定とする） (4) 出場枠獲得選手が負傷・病気等の場合 医師の診断書に基づき、延期措置は「最初の延期決定から 1 か月以内」かつ「1 回に限り」認めるものとし、再延期は一切認めない。
備考	(1) シニア世界選手権代表オリンピック階級プレーオフ時期・会場は、6 月沼尻杯全国中学生選手権大会もしくは、NTC を候補とする。 (2) シニア世界選手権代表非オリンピック階級プレーオフ時期・会場は、7 月全日本社会人選手権大会もしくは、NTC を候補とする。 (3) 補欠選手がオリンピック出場枠（国粋）獲得後プレーオフ時期・会場は、11 月中として会場は未定である。

2028 1st Ranking Series

期間

2028 年 1 月 17 日～1 月 23 日

開催地	(候補地) クロアチア ・ ザグレブ、エジプト ・ アレクサンドリア、モンゴル ・ ウランバートル
選考基準	(1) 派遣対象はオリンピック階級とし、オリンピック出場枠獲得階級は各階級 1 名まで、オリンピック出場枠未獲得階級は各階級 2 名までとする。 (2) オリンピック出場枠獲得階級からの派遣選手は、オリンピック代表内定選手のみとする。 (3) オリンピック出場枠未獲得階級においては、同階級において以下の優先順位に基づき選出する。 ① 選考時点 (※1) におけるランキング最上位選手 ② 2027 年度天皇杯全日本選手権大会 優勝者 ③ 選考時点 (※1) におけるランキング上位選手 (2 位以下) ※1「選考時点」とは、対象大会終了時点における獲得ポイントおよびランキング順位をいう。 (4) 同位選手の優先順位は、UWW ルール規定の第 2 章第 8 条に準ずる。
備考	

2028 シニアアジア選手権大会	
期間	2028 年 3 月 6 日～3 月 12 日
開催地	(候補地) 未定
選考基準	(1) オリンピック出場枠獲得階級においては、オリンピック代表内定選手のみを選出する。 (2) オリンピック出場枠未獲得階級においては、同階級において以下の優先順位に基づき選出する。 ① 選考時点 (※) におけるランキング最上位選手 ② 2027 年度天皇杯全日本選手権大会 優勝者 ③ 選考時点 (※) におけるランキング上位選手 (2 位以下) ※「選考時点」とは、対象大会終了時における獲得ポイントおよびランキング順位を指す。 (3) 非オリンピック階級においては 2027 年度天皇杯全日本選手権大会の成績に基づき、同階級の上位選手から順に優先して選出する。 (4) 同順位の選手における優先順位は、UWW ルール規定第 2 章第 8 条に準ずる。
備考	

2028 オリンピックアジア予選	
期間	2028 年 4 月 14 日～4 月 16 日
開催地	(候補地) カザフスタン ・ アスタナ
選考基準	(1) オリンピック出場枠獲得階級においては、選手の派遣を行わない。 (2) オリンピック出場枠未獲得階級においては、2027 年度天皇杯全日本選手権大会 1 位の選手を選出する。 (3) 補欠選手について 同階級の上位選手 (2 位～4 位) から順に優先して選出する。 (4) 同順位の選手における優先順位は、UWW ルール規定第 2 章第 8 条に準ずる。
LA2028 国枠獲得条件	オリンピック階級 2 位以内
LA2028 代表内定	(1) 代表選手が出場枠 (国枠) を獲得した場合、当該代表選手をオリンピック代表内定選手とする。 (2) 補欠選手が出場枠 (国枠) を獲得した場合 (以下「出場枠獲得選手」という)、負傷等でオリンピックアジア予選を欠場となった代表選手と、出場枠獲得選手の 2 名によるプレーオフを後日実施する。 (3) プレーオフの決定方法について 出場枠獲得選手に 1 勝のアドバンテージを与えた上で、最大 2 試合を行う。 ① 1 試合目: 出場枠獲得選手が勝利した場合は、オリンピック代表内定選手とする。代表選手が勝利した場合は、2 試合目を行う。 ② 2 試合目: 2 試合目の勝者をオリンピック代表内定選手とする。 (※出場枠獲得選手は 1 勝、代表選手は 2 連勝で内定とする) (4) 出場枠獲得選手が負傷・病気等の場合 医師の診断書に基づき、延期措置は「最初の延期決定から 1 か月以内」かつ「1 回に限り」認めるものとし、再延期は一切認めない。
備考	補欠選手がオリンピック出場枠 (国枠) 獲得後プレーオフ時期・会場は、5 月中として会場は未定である。※オリンピック派遣手続き日程を考慮して後日決定する。

UWW Ranking 国枠代表決定戦 (仮称)	
期間	2028 年 4 月下旬～5 月上旬
開催地	NTC 他
選考基準	(1) UWW ランキングによる出場枠 (国枠) 獲得選手と、2027 年度天皇杯全日本選手権大会 1 位の選手が同一人物の場合、実施しない。 (2) 両者が異なる場合、当該 2 名による代表内定決定戦 (プレーオフ) を実施する。 (3) 日程は、オリンピック派遣手続きの日程を考慮し、後日決定する。

	(4) 出場枠獲得選手が負傷・病気等の場合 医師の診断書に基づき、延期措置は「最初の延期決定から1か月以内」かつ「1回に限り」認めるものとし、再延期は一切認めない。ただし、オリンピック派遣手続き等の期日により1か月間の延期が困難な場合は、当該派遣手続き期日を優先（上限）とする。
LA2028 国枠獲得条件	オリンピック出場枠未獲得階級を対象とし、ランキング最上位者に1枠が付与される。なお、ランキングポイントは選手個人に付与されるが、オリンピック出場枠として確定した時点で、当該枠はNOC枠（国枠）に変換される。
LA2028 代表内定	(1) UWW ランキングによる出場枠（国枠）獲得選手と、2027年度天皇杯全日本選手権大会1位の選手が同一人物の場合、決定戦を行わずに内定とする。 (2) 決定戦が実施された場合、勝者をオリンピック代表内定選手とする。
備考	

■ 各国際大会派遣について

国際大会派遣については、強化方針に則り、強化委員会が選考基準を明確にし、選考する。

2. 選考選手が怪我や病気をした場合

上記選考基準に基づき選考された選手が、選考後、怪我や病気等により大会に欠場する可能性が生じた場合、当該選手の派遣の可否は、当協会の委嘱したスポーツ医科学委員会医師が当該選手を診断した上で判断するものとし、当協会は当該医師の判断に従うものとする。

3. その他

本基準に定めのない事項が生じた場合、または、本基準の解釈に疑義が生じた場合、その他不測の事態が生じた場合、強化本部長が判断した上で、派遣選手を選考するものとする。なお、当該条項に基づき強化本部長が派遣選手を選考した場合、強化本部長は選考理由を理事会その他、関係各所に対し説明するものとする。

以上